

報道関係各位

2023年7月11日  
ノートルダム清心女子大学  
国際交流センター

## メディアと社会の学びを通じて日韓交流を深化させる 次世代を担う日韓大学生によるアクティブな学び ーグローバル・メディア・ラーニング・キャンプ in Seoulー

ノートルダム清心女子大学国際交流センター（センター長・金山勉教授）ではポストコロナ時代の象徴的な国際教育・交流の取り組みとして韓国ソウルの西江大学コミュニケーション学部との間で提携を結び、「グローバル・メディア・ラーニング・キャンプ in Seoul」を企画し、2023年8月24日（木）から8月30日（水）までの6泊7日で実施します。

日韓の社会を比較メディアの視点から学ぶ際の拠点大学となる西江大学では、英語講義を通じて「韓流（Hallyu）と広報文化外交（public diplomacy）」を学び、あわせて世界的にも大きなインパクトを与えている K-pop にかかわるフィールド研修を計画しています。

### <発表のポイント>

1. 多様化・複雑化する社会的課題に日々向き合う私たちは、人類のよりよい明日を実現するために社会貢献をすることが望まれています。ノートルダム清心女子大学としてリベラル・アーツの力を備えた「真の自由人」となり、同時にグローバルな経営感覚や政策マネジメントの視点を持ち合わせた「真の国際人」となって今日の世界を見通す窓を、この夏、ソウルで開きます。
2. グローバル・メディア・ラーニング・キャンプと名付けられた、大学初のアクティブな学びでは、韓国の大学生と、クラス内外で交流することにより、近くて遠いといわれて久しい日韓関係についても次世代を担う若者同士の意見交換と相互理解が促進されることが期待されます。
3. GMLC 実施に先立って、地元岡山市で事前学習を行い、続いて学びのフィールドをソウルに移して日韓両国の異なる社会で生まれてきたメディアの環境が、それぞれの国の人々や社会にどのような影響を与えているかについて考えます。
4. ホスト大学の西江大学教員・学生とディスカッションしたり、最先端のメディア・エンタテインメント（例えば K-POP）の現場に身を置いたりしてアクティブに学び、比較メディアの観点で、それぞれの社会を分析・理解する力を養います。
5. この夏の GMLC に参加することで、学生たちは本当に学びたいことへの気づきを手に入れることができます。加速するグローバル化とその一方で生まれる社会的課題にどのように向き合えばよいか。ソウルでの研修を終えた時には、自分なりにその手掛かりが掴めているでしょう。
6. 自由と平和を実現し、日韓両国がともに繁栄するための人的な交流を促進し、世界の中の日韓を意識できる機会ともなる、「今、ここでしか学べない」学びの場が、GMLC 岡山・ソウルの夏で展開されます。



ノートルダム清心女子大学と交流提携した韓国・西江大学コミュニケーション学部の Lee, Soon young 学部長（右から2番目）と主要教授陣（両側）と金山勉センター長（左から2番目）－2023年4月西江大学にて

**【金山 勉（かなやま・つとむ）のプロフィール】**

ノートルダム清心女子大学 教授・国際交流センター長。上智大学、米国ジョージ・ワシントン大学・フルブライト客員研究員、立命館大学教授などを経て、2023年4月より現職。日豪大学共同の学部間デュアル・ディプロマ・プログラムや日本・インドネシアの中高連携によるオフショア・スクール校（ジャカルタ）設立など、それぞれ二国間で初となる独創的な国際教育プログラムを立ち上げた。専門は国際メディア・コミュニケーション論。

**【お問い合わせ先】**

ノートルダム清心女子大学  
国際交流センター  
センター長 金山 勉  
e-mail [icc@post.ndsu.ac.jp](mailto:icc@post.ndsu.ac.jp)  
TEL. 086-252-2393

**【国際交流センターの取り組み】**

- ・大学ウェブサイト

<https://www.ndsu.ac.jp/education/icc.html>

- ・公式ブログ

<https://www.ndsu.ac.jp/blog/article/index.php?c=blog&q=%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E4%BA%A4%E6%B5%81%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC&x=0&y=0>